

2025年度 市野与進こども園 事業報告

浜松市においても急速な出生数の減少が見られる中、2025年度は21名の0歳児の入園があり平均入所率は102%とほぼ例年通りの園児数を確保することができた。「こども誰でも通園制度」の利用数は年間延べ24名であり、1歳児の利用が多く保護者の子育ての負担感の大きさが推測される。こども家庭庁打ち出した「こどもまんなか社会」を園が拠点となって創り出す必要を感じる。職員関係では2名の産休育休の取得があり、短時間勤務者が4名であった。年度途中で中途の正規保育教諭、早番対応の短時間パート保育教諭を採用したことで職員の負担も減り、スムーズな園児確保に繋がった。8月に多目的室が完成し、職員も休憩時間にゆっくりと体を休めるスペースを確保することができた。

【重点目標及び施策への取り組み】

1. 保育サービスの質の向上

浜松市の試行的事業として2024年から始まった「子ども誰でも通園支援事業」の利用は0歳児1名、1歳児19名、2歳児4名の利用があった。うち2歳児1名は誕生日を迎えて満3歳児の1号認定の入園に繋げることができた。「こども誰でも通園制度」の大きな目的である、同じ年頃の子ども達で触れ合うことで、家庭では得られない経験や家族以外の人と関わりによって心身成長すること、また、子どもの発達面で課題を感じる保護者に対しては、相談、面接を行い専門機関との連携に繋げることができた。子どもの育ちの支援と同時に保護者支援の重要性を実感することができた。

保育中の安全・危機管理に関しては、担当職員が中心となり、演習・実践研修の場を設け情報共有を行った。また、重大事故に関しては発生後速やかに会議を開き、経緯、原因究明を行い対策を話し合い全職員で共有し再発防止に努めた。

保護者に対する支援として、園での友だちとの関わりや日々の様子をアプリを通して伝えたり、懇談会の機会に子どもの内面の育ちについて語り合える場を設け、相互理解を図り子育ての喜びを感じられるよう努めた。今後も折に触れて愛着形成(アタッチメント)の重要性を具体的に伝える必要性を感じる。

2. 職員の専門性の向上

子ども主体の保育実践に繋がるよう、毎月1時間程度の坪川先生との読書会と室内環境の見直しを行った。読書会を通して子どもの社会性や道徳的な内面の発達について学ぶことができた。子どもの姿を観察したり、子どもの思いや意見を尊重することを基本とした保育実践を意識することができた。

個別の配慮を要する子に対しては保護者との連携を密に行い、定期的に専門職からのアドバイスを受けることで試行錯誤しながらも安心して保育にあたることができた。

園内の研修委員会を中心に保育を語り合う場を意図的に設け、保育の悩みや相談を共有したり、様々な保育観や価値観に触れることで多角的に子どもの姿を捉え、視野を広げて考える機会となった。また、自分の保育を肯定してもらったり思いを共有することで職員個人のモチベーションやチームワークに繋がった。

3. 職員が働きやすい環境作り

7月末に増築部分の多目的室が完成したことにより、休憩時間にはゆっくりとくつろげるスペースを確保することができた。保育室が1階2階と分かれ、日中顔を合わせることが少ない職員同士の交流の場となっている。保育室から離れて、確実に休憩時間を確保することで、心身ともにリフレッシュして前向きに業務にあたることが出来ている。

自身も子育て中の職員が多く、家庭の都合等で突発的な休みや急遽の早退への対応が頻繁にあり、教頭や主幹保育教諭を中心に互いに声を掛け合い、融通を利かせて協力体制をとることができた。余裕を持った人員配置によって安心して働ける事に繋がった。

4. 地域・他機関との連携の充実

近隣の協働センターにて年長児が地域の高齢者とのふれあいの場を持ったり、職員が地域の防災会活動に参加するなど地域活動に参加した。また、年に数回、近隣のこども園、幼稚園、小学校と交流し年長児は就学への期待にも繋がっている。

2024年から市内数か所でモデル事業として始まった、中学校区就学前施設連携会議では、公立幼稚園や小規模園との情報共有や意見交換の場となり、公開保育や合同の研修会に参加し連携することができた。

5. 「地域における公益的な取組」を含む地域貢献活動の充実

子育て中の保護者を対象に、「離乳食講座」「ベビープログラム」「園庭開放」「親子ひろば」を実施し育児不安の解消や入園に向けての情報提供等を行うことができた。

また、地域の方の定期的なボランティアや中学生の保育体験の受け入れを行い、保育の環境整備を含めて体験活動をしてもらうことで、保育士の仕事の奥深さを伝えることができた。

【園児数実績】

<人>

定員	2,3号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	1号													
5歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4歳児	30	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3歳児	30	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2.8
2歳児	25	29	29	29	29	29	28	28	28	28	28	28	28	28.4
	2	0	1	2	2	3	4	5	5	5	5	5	5	4.5
1歳児	25	27	27	27	27	27	26	26	26	25	25	25	25	26.1
0歳児	20	14	15	17	18	18	20	20	20	20	21	21	21	18.8
合計	171	167	169	172	173	174	175	176	176	175	176	175	175	174.6
充足率	%	98	99	100	101	102	102	103	103	102	102	102	102	102

【一時預かり事業実績】

<延べ人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	18	44	24	9	25	29	25	12	12	15	21	234

【親子ひろば実績】

<延べ人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19	13	13	30	11	14	23	12	14	14	15	11	189